

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドウェイズ
 コード番号 2489 URL <http://www.adways.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡村 陽久
 問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員 (氏名) 田中 庸一
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日
 配当支払開始予定日 —

TEL 03-5339-7122

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	2,665	64.0	156	—	154	—	141	—
21年3月期第1四半期	1,625	—	△27	—	△21	—	△25	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	1,780.67	1,738.68
21年3月期第1四半期	△321.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	4,596	3,183	69.3	40,078.41
21年3月期	4,379	3,026	69.1	38,221.97

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 3,183百万円 21年3月期 3,026百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	10,000	20.4	600	171.0	598	155.9	400	95.3	5,051.45

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、記載を省略しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は5ページ【定性的情報・財務情報等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は5ページ【定性的情報・財務情報等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 79,430株 21年3月期 79,185株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 0株 21年3月期 0株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 79,299株 21年3月期第1四半期 78,935株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前項に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、前項の予想数値と異なる場合があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における我が国の経済は、世界的な金融危機に端を発した金融市場の混乱による実態経済への深刻な影響が尾を引いており、景気の底入れ感による株式市場の緩やかな回復の兆しが見えるものの、依然、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループが事業展開を行うインターネット・モバイル関連業界は、インターネットのブロードバンド化や携帯電話の定額料金制の普及を背景に、市場規模は安定した成長を遂げており、当社グループが手掛けているアフィリエイト広告市場も引き続き拡大が予測されております。

こうした経営環境の中、当社グループは、国内のインターネット・モバイル関連業界において、アフィリエイト広告事業及びその他周辺事業に投資を行い、シェアの拡大及び収益力の強化に注力いたしました。

その結果、売上高は、主にインターネット（PC）アフィリエイト広告事業及びモバイルアフィリエイト広告事業の売上高の伸長や、連結子会社である株式会社アドウェイズ・エンタテインメントが営むモバイルコンテンツ事業が順調に推移したこともあり、前年同四半期より1,039,967千円増加し2,665,380千円（前年同期比64.0%の増加）となりました。

売上総利益は、売上高の増加に伴い、前年同四半期より209,560千円増加し、559,551千円（前年同期比59.9%増）となりました。

営業利益は、売上高の増加に伴う売上総利益の増加、並びに販売費及び一般管理費の抑制などにより、前年同四半期より183,801千円増加し、156,467千円となりました（前年同四半期は27,333千円の営業損失）。

経常利益は、前年同四半期より176,431千円増加し、154,663千円となりました（前年同四半期は21,768千円の経常損失）。

四半期純利益は、経常利益の改善により前年同四半期より166,564千円増加し141,206千円の四半期純利益となりました（前年同四半期は25,358千円の四半期純損失）。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①インターネット（PC）アフィリエイト広告事業

	平成21年3月期 第1四半期	平成22年3月期 第1四半期	増減	前年同期比(%)
売上高（千円）	528,341	681,887	153,545	29.1
（外部売上高）（千円）	525,206	681,427	156,221	29.7
（セグメント間売上高）（千円）	3,135	460	△2,675	△85.3
営業費用（千円）	474,112	630,988	156,876	33.1
営業利益（千円）	54,229	50,898	△3,330	△6.1
広告主（クライアント）数	1,122	1,088	△34	△3.0
提携Webサイト（メディア）数	149,919	174,028	24,109	16.1

当第1四半期連結会計期間におけるインターネット（PC）アフィリエイト広告事業は、主に収益力の回復を以下の課題とし、その点に注力した営業戦略の継続により広告主（クライアント）数は減少したものの、提携Webサイト（メディア）数は順調に増加し、売上高もそれに伴い増加しました。

しかしながら、競合他社との競争激化に備え、競争力強化を目的とした人員の増強を行ったため営業費用が増加いたしました。

この結果、インターネット（PC）アフィリエイト広告事業の売上高は681,427千円（前年同期比29.7%増）、営業利益は50,898千円（前年同期比6.1%減）となりました。

②モバイルアフィリエイト広告事業

	平成21年3月期 第1四半期	平成22年3月期 第1四半期	増減	前年同期比(%)
売上高（千円）	1,026,559	1,899,857	873,298	85.1
（外部売上高）（千円）	1,025,325	1,895,472	870,147	84.9
（セグメント間売上高）（千円）	1,234	4,385	3,150	255.3
営業費用（千円）	883,529	1,618,886	735,357	83.2
営業利益（千円）	143,030	280,971	137,941	96.4
広告主（クライアント）数	1,673	2,132	459	27.4
提携Webサイト（メディア）数	60,479	82,985	22,506	37.2

当第1四半期連結会計期間におけるモバイルアフィリエイト広告事業は、携帯電話の高速データ通信、定額料金制の普及によるユーザー層の拡大及び、広告収入型サイト（一般サイト）の活況による市場の拡大により、広告主（クライアント）数、提携Webサイト（メディア）数とも順調に増加いたしました。それに加え、連結子会社である株式会社アドウェイズ・エンタテインメントのモバイルコンテンツ事業も順調に推移したため、売上高、営業利益が増加いたしました。

この結果、モバイルアフィリエイト広告事業の売上高は1,895,472千円（前年同期比84.9%増）、営業利益は280,971千円（前年同期比96.4%増）となりました。

③海外事業

	平成21年3月期 第1四半期	平成22年3月期 第1四半期	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	67,286	72,659	5,373	8.0
(外部売上高)(千円)	67,286	72,659	5,373	8.0
(セグメント間売上高)(千円)	—	—	—	—
営業費用(千円)	96,650	100,734	4,083	4.2
営業損失(△)(千円)	△29,364	△28,074	1,289	—

当第1四半期連結会計期間における海外事業は、中国のインターネット広告市場の拡大や中国へ進出する日系企業への営業強化により、売上高は順調に拡大しております。しかしながら、中国における営業の強化を目的とした人員の増強を行ったため、営業費用は増加いたしました。

この結果、海外事業の売上高は72,659千円(前年同期比8.0%増)、営業損失は28,074千円(前年同期から1,289千円の改善)となりました。

④新規事業・その他

	平成21年3月期 第1四半期	平成22年3月期 第1四半期	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	14,038	27,241	13,203	94.1
(外部売上高)(千円)	7,594	15,820	8,226	108.3
(セグメント間売上高)(千円)	6,443	11,420	4,977	77.2
営業費用(千円)	33,512	39,565	6,053	18.1
営業損失(△)(千円)	△19,474	△12,324	7,149	—

新規事業・その他は、日本における新規事業(フリーペーパー事業など)を営んでおります。

営業費用は主に国内におけるシステム開発及び新規事業への先行投資などによるものであります。

この結果、新規事業・その他の売上高は15,820千円(前年同期比108.3%増)、営業損失は12,324千円(前年同期から7,149千円の改善)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、売上高の増加に伴う売上債権の増加により、前連結会計年度末に比べ217,253千円増加し、4,596,361千円となりました。有利子負債は、前連結会計年度末から比べ2,502千円減少し794千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、2,365,603千円となりました(前年同期比231,884千円増)。

営業活動によるキャッシュ・フローは、181,523千円の収入となりました(前年同期比191,061千円増)。これは主に、税金等調整前当期純利益を152,516千円計上したこと、仕入債務の増加額が12,357千円となったこと、未払金及び未払費用の増加額が16,205千円となったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、30,580千円の支出となりました(前年同四半期は178,199千円の支出)。これは主に、投資有価証券の取得による支出21,017千円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,390千円の収入となりました(前年同期比4,892千円増)。これは主に、新株予約権の行使による新株発行収入4,892千円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

(当期の見通し)

当社グループが手掛けておりますアフィリエイト広告市場は、インターネット広告市場の拡大に伴い、成長を続けるものと予想されており、当社グループの業績も市場の成長とともに、当第1四半期連結会計期間におきましては、計画通り順調に推移しております。

当社グループは、アフィリエイト広告事業及びその周辺事業に経営資源を重点的に分配し、広告主(クライアント)数及び提携Webサイト(メディア)数の増加、自社メディアの育成等により、利益率の向上を図るとともに、差別化を図ります。また、中国におけるアフィリエイト広告市場に関しても今後の拡大を予想し、一層の営業体制の強化を図り、売上の確保を図ります。

このような状況の中、売上高は主にアフィリエイト広告事業が引き続き拡大が進むと予想し、10,000百万円を見込んでおります。

営業利益は、売上高の増加及び、販売費及び一般管理費の抑制により600百万円を見込んでおり、経常利益は598百万円を見込んでおります。

当期純利益は、税金等調整前当期純利益から法人税等を差し引き、400百万円を見込んでおります。

以上により、平成22年3月期の業績見通しにつきましては、売上高10,000百万円（前期比20.4%増）、営業利益600百万円（前期比171.0%増）、経常利益は598百万円（前期比155.9%増）、当期純利益400百万円（前期比95.3%増）を見込んでおります。

なお、当社グループのアフィリエイト広告事業は上記の通り、外部環境が著しく変化するため、個別の業績予想並びに第2四半期累計期間における業績予想の開示は省略しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る、減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価格を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,365,603	2,206,359
売掛金	1,549,833	1,483,989
商品及び製品	16,388	19,459
仕掛品	4,671	—
原材料及び貯蔵品	140	105
繰延税金資産	15,461	23,865
その他	70,737	70,511
貸倒引当金	△43,514	△39,567
流動資産合計	3,979,321	3,764,723
固定資産		
有形固定資産	111,053	121,796
無形固定資産		
のれん	183,531	188,437
その他	126,802	127,676
無形固定資産合計	310,334	316,114
投資その他の資産		
繰延税金資産	3,429	5,225
その他	207,577	186,309
貸倒引当金	△15,355	△15,061
投資その他の資産合計	195,650	176,473
固定資産合計	617,039	614,385
資産合計	4,596,361	4,379,108
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,135,401	1,090,156
未払法人税等	10,606	10,354
返品調整引当金	13,627	—
その他	253,297	251,990
流動負債合計	1,412,933	1,352,501
負債合計	1,412,933	1,352,501
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,472,640	1,470,131
資本剰余金	1,462,640	1,460,131
利益剰余金	261,776	120,536
株主資本合計	3,197,057	3,050,799
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△13,629	△24,193
評価・換算差額等合計	△13,629	△24,193
純資産合計	3,183,427	3,026,606
負債純資産合計	4,596,361	4,379,108

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,625,412	2,665,380
売上原価	1,275,421	2,105,828
売上総利益	349,991	559,551
販売費及び一般管理費	377,324	403,083
営業利益又は営業損失(△)	△27,333	156,467
営業外収益		
受取利息	1,076	1,036
為替差益	4,589	—
その他	1	446
営業外収益合計	5,667	1,482
営業外費用		
支払利息	101	15
為替差損	—	2,828
その他	—	442
営業外費用合計	101	3,286
経常利益又は経常損失(△)	△21,768	154,663
特別利益		
固定資産売却益	—	50
違約金収入	7,043	—
償却債権取立益	—	161
特別利益合計	7,043	211
特別損失		
固定資産売却損	—	505
固定資産除却損	407	1,329
事務所移転費用	7,441	523
特別損失合計	7,849	2,359
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△22,574	152,516
法人税、住民税及び事業税	2,189	1,035
法人税等調整額	594	10,275
法人税等合計	2,784	11,310
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△25,358	141,206

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△22,574	152,516
減価償却費	23,691	22,289
のれん償却額	200	10,412
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,118	3,128
ポイント引当金の増減額(△は減少)	1,146	△3,869
受取利息及び受取配当金	△1,076	△1,036
支払利息	101	15
固定資産売却損益(△は益)	—	455
固定資産除却損	407	1,329
移転費用	7,441	523
株式交付費	—	124
売上債権の増減額(△は増加)	△116,266	△1,023
仕入債務の増減額(△は減少)	98,907	12,357
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△14,393	16,205
未払消費税等の増減額(△は減少)	13,646	△25,419
その他	△6,339	△2,853
小計	△10,987	185,155
利息及び配当金の受取額	1,076	1,036
利息の支払額	△97	△11
法人税等の支払額	469	△4,657
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,538	181,523
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,000	△2,526
有形固定資産の売却による収入	—	58
無形固定資産の取得による支出	△9,365	△6,537
投資有価証券の取得による支出	△150,262	△21,017
投資有価証券の売却による収入	442	—
差入保証金の差入による支出	△6,871	△150
差入保証金の回収による収入	158	296
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△943
貸付金の回収による収入	—	240
その他	△3,300	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△178,199	△30,580
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2,502	△2,502
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	4,892
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,502	2,390
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,005	5,911
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△194,245	159,244
現金及び現金同等物の期首残高	2,327,965	2,206,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,133,719	2,365,603

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

	インターネット(PC)アフィリエイト広告事業(千円)	モバイルアフィリエイト広告事業(千円)	海外事業(千円)	新規事業・その他(千円)	計(千円)	消去又は全社(千円)	連結(千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	525,206	1,025,325	67,286	7,594	1,625,412	—	1,625,412
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,135	1,234	—	6,443	10,813	(10,813)	—
計	528,341	1,026,559	67,286	14,038	1,636,226	(10,813)	1,625,412
営業利益又は営業損失(△)	54,229	143,030	△29,364	△19,474	148,421	(175,755)	△27,333

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	インターネット(PC)アフィリエイト広告事業(千円)	モバイルアフィリエイト広告事業(千円)	海外事業(千円)	新規事業・その他(千円)	計(千円)	消去又は全社(千円)	連結(千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	681,427	1,895,472	72,659	15,820	2,665,380	—	2,665,380
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	460	4,385	—	11,420	16,266	(16,266)	—
計	681,887	1,899,857	72,659	27,241	2,681,646	(16,266)	2,665,380
営業利益又は営業損失(△)	50,898	280,971	△28,074	△12,324	291,471	(135,003)	156,467

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な製品

- (1) インターネット(PC)アフィリエイト広告事業
インターネットを介したアフィリエイト広告事業等
- (2) モバイルアフィリエイト広告事業
携帯電話を介したアフィリエイト広告事業等
- (3) 海外事業
海外におけるアフィリエイト広告事業等
- (4) 新規事業・その他
日本における新規事業等

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

- ・株式会社プロデュース・アソシエーションからの事業譲受について

当社の連結子会社である株式会社アドウェイズ・エンタテインメントは、平成21年6月30日開催の取締役会において、株式会社プロデュース・アソシエーションのモバイルコンテンツ事業の一部を譲受けることを決議し、平成21年7月1日をもって当該事業を譲受けいたしました。

1. 事業譲受の目的

株式会社プロデュース・アソシエーションが運営する公式モバイルサイト「韓流大好き!」は、同ジャンルの中でトップクラスの規模となっており、今回の事業譲受けによってサイト運営のノウハウを共有し、各コンテンツの充実を図ります。

2. 譲り受ける相手会社の名称等

- | | |
|------------|--------------------------|
| (1) 名称 | 株式会社プロデュース・アソシエーション |
| (2) 本店所在地 | 東京都豊島区北大塚一丁目13番17号 |
| (3) 代表者 | 代表取締役 青柳邑果 |
| (4) 資本金の額 | 49,800千円 |
| (5) 設立年月日 | 平成11年11月24日 |
| (6) 主な事業内容 | モバイルコンテンツの運営、モバイルコマースの運営 |

3. 当該事業の譲受けの契約の内容

- | | |
|------------------|--|
| (1) 譲受け事業 | モバイルコンテンツ事業 |
| (2) 譲受け資産及び負債の内容 | 平成21年6月30日現在の当該事業に係る資産及び負債については引き継いでおりません。 |
| (3) 譲受け価額及び決済方法 | 譲受け価額：100,000千円
決済方法：現金決済 |
| (4) 譲受けの日程 | 平成21年6月30日 事業譲渡契約締結
平成21年7月1日 事業譲受実行日 |

- ・資本準備金の減少

当社は、平成21年6月27日開催の第9期定時株主総会において資本準備金の額の減少について承認され、平成21年7月31日より効力が発生いたしました。

1. 資本準備金の額の減少の目的

今後の経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能にするため、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の減少を行うものであります。

2. 資本準備金の額の減少の要領

平成21年7月31日付けで資本準備金1,460,131,800円のうち500,000,000円を減少し、その他資本剰余金に振り替えました。

3. 今後の見通し

本件は「純資産の部」の勘定振替となりますので、当社の純資産額に変動はなく、また、本件が当社の業績に与える影響はありません。